# 調査内容

## 目的

### 方言を方言として認識できているかを調査

### 若者の中で本当に方言は廃れているかを考察

## 概要

### 調査期間

#### 2013年8月1日～8月20日

### 調査対象

#### 岡山県岡山市出身・在住の10～20代の男女　100人

### 調査方法

#### 翻訳式の調査票に記入

# 調査結果―集計

## 各語彙の方言の認識

# 調査結果―分析

## 方言として認識されていない語彙

### 「なおす」「たう」「ひこずる」「つかえる」「みやすい」

#### 岡山弁の特徴が含まれていないため、標準語と勘違いしている

### 「すいばり」

#### メディアで耳にする機会がないため、標準語に置き換えできない

## 方言として認識されている語彙

### 「ぎょーさん」「おえん」「えれー」

#### 方言らしい音を持っているため、方言であることが認識しやすい

# 考察

## 若者の言葉

### 「メディアから受ける標準語」と「生活環境から受ける方言」の影響を受けている

### 方言は格好悪いと感じ、自発的に使おうとしない

## 若者の方言認識度

### 両親の教育や地域の人々との交流を通して方言を習得しながら、メディアを通じて標準語を習得している

### 若者は標準語と方言を一定のレベルで使いこなしている